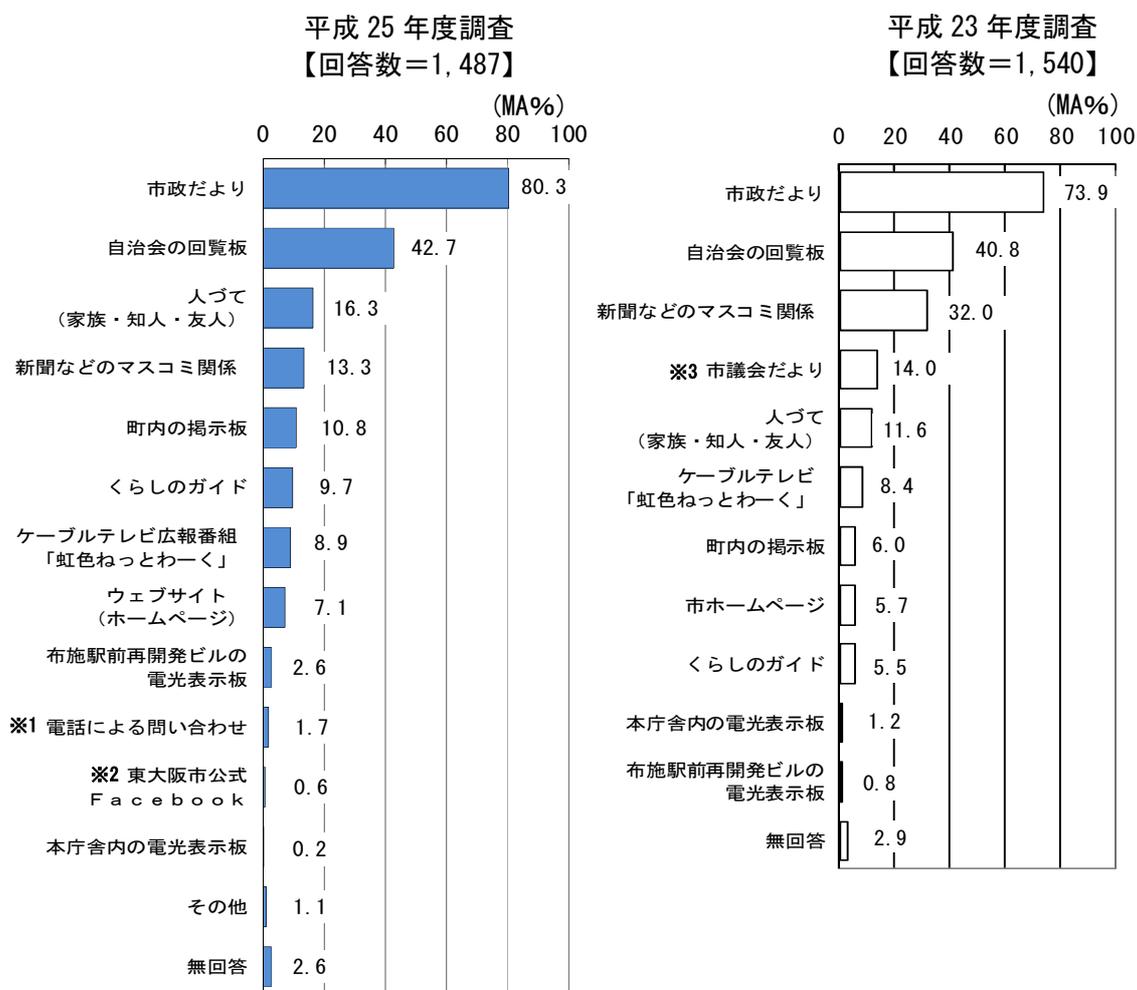


2. 市の広報活動について

問 12. あなたは、市政に関する情報を何から入手していますか？

(〇はいくつでも)

図 2-1 市政情報の入手経路(複数回答)



※1 「電話による問い合わせ」は平成 25 年度より調査

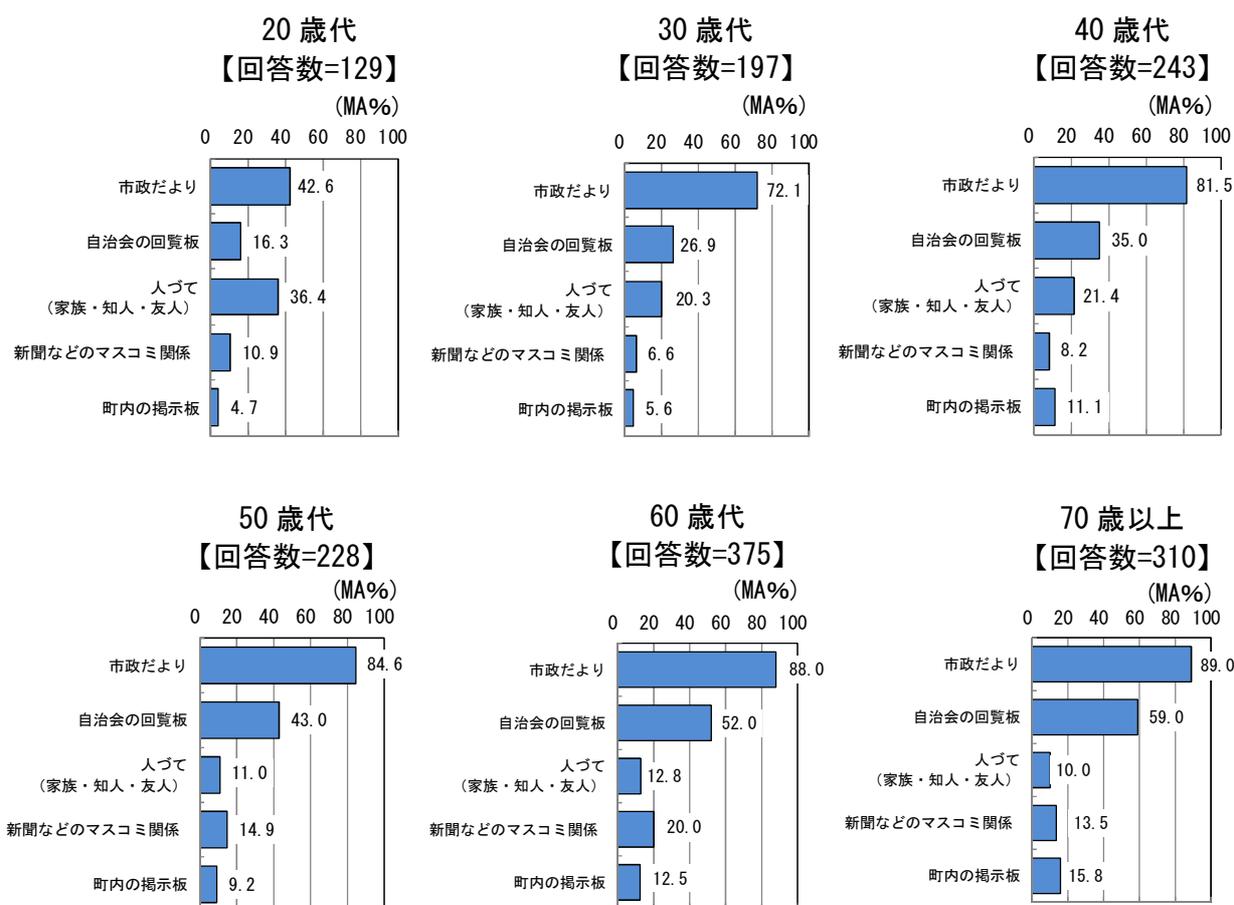
※2 「東大阪市公式 Facebook」は平成 25 年度より開始した事業

※3 「市議会だより」は平成 23 年度のみ調査

市政情報の入手経路をたずねた。「市政だより」が 80.3%と最も高く、以下「自治会の回覧板」(42.7%)、「人づて(家族・知人・友人)」(16.3%)などの順となっている。

平成 23 年度調査と比較すると、上位 2 位までの順位は同じとなっているが、本年度調査では「人づて(家族・知人・友人)」が 16.3%(平成 23 年度調査では 5 位)と 3 位に上昇している。(図 2-1)

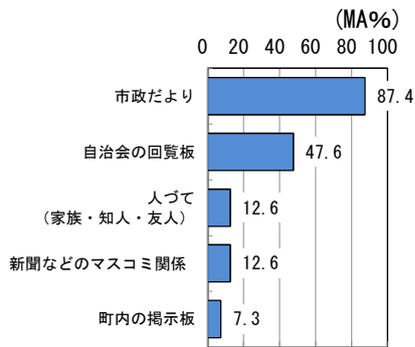
図 2-2 年代別 市政情報の入手経路【上位5項目】（複数回答）



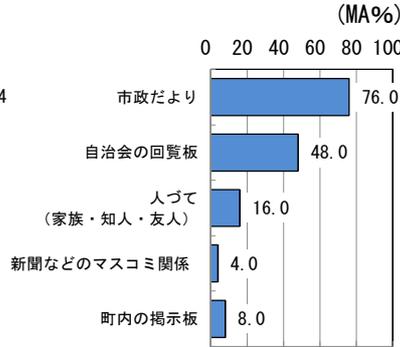
年代別に上位5項目をみると、いずれの年代も「市政だより」が最も高くなっているのは全体と同じであるが、『20歳代』で「人づて（家族・友人・知人）」が36.4%と2位になっていること、『50歳代』『60歳代』では「新聞などのマスコミ関係」がそれぞれ14.9%、20.0%と3位になっていること、『70歳以上』では、「町内の掲示版」が15.8%と3位になっていることが特徴である。（図 2-2）

図 2-3 職業別 市政情報の入手経路【上位 5 項目】（複数回答）

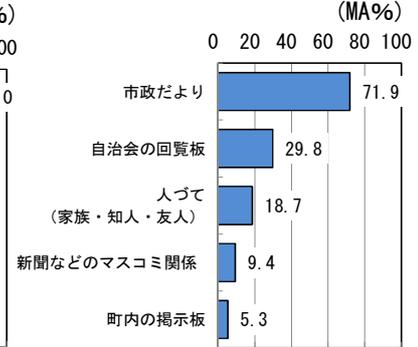
自営業主またはその家族
従事者(商工・サービス業・建設業・農業など)【回答数=191】



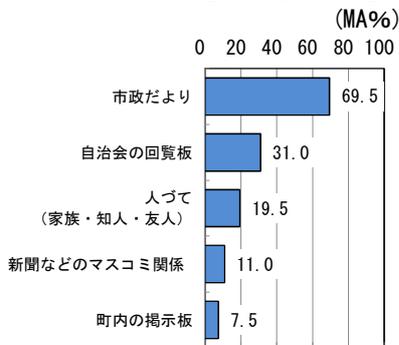
自由業者
(医師、弁護士、芸術家など)【回答数=25】



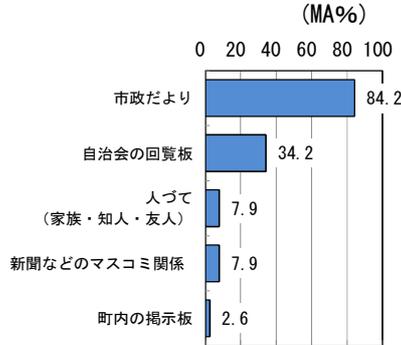
民間の会社・団体の勤め人
(庶務、経理、事務などに従事)【回答数=171】



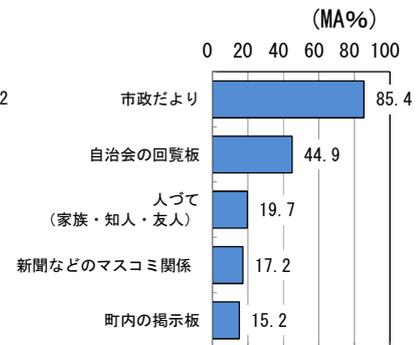
民間の会社・団体の勤め人
(作業、運転などに従事)【回答数=200】



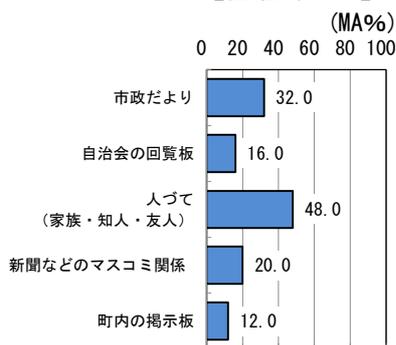
公務員、教員
【回答数=38】



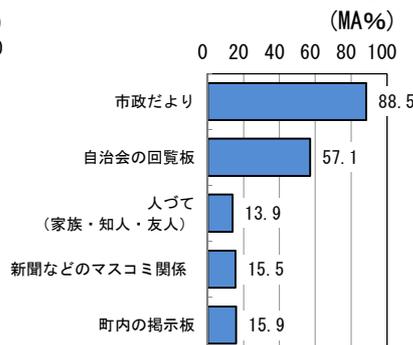
その他の有業者
(パート、アルバイト)【回答数=198】



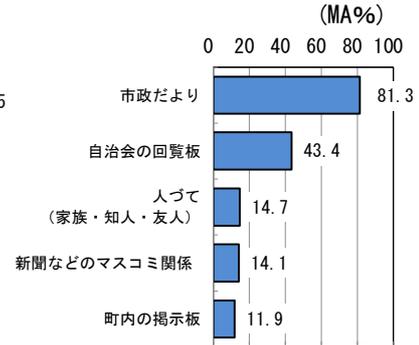
学生
【回答数=25】



家事従事者
【回答数=296】



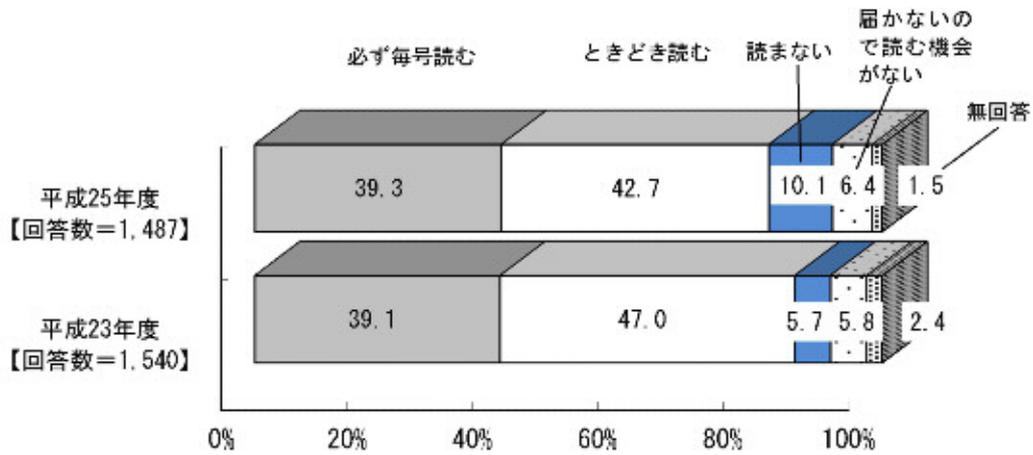
無職
(学生、家事従事者以外の無職)
【回答数=327】



職業別に上位 5 項目をみると、『学生』を除き、ほぼ全体と同様の順位となっている。『学生』では、「人づて (家族・知人・友人)」が 48.0% と最も高くなっている。(図 2-3)

問 13. 市では、「東大阪市政だより」を毎月2回(1日号、15日号)発行しています。
あなたは、「東大阪市政だより」を読んでいますか？(○は1つだけ)

図 2-4 「東大阪市政だより」の閲読状況

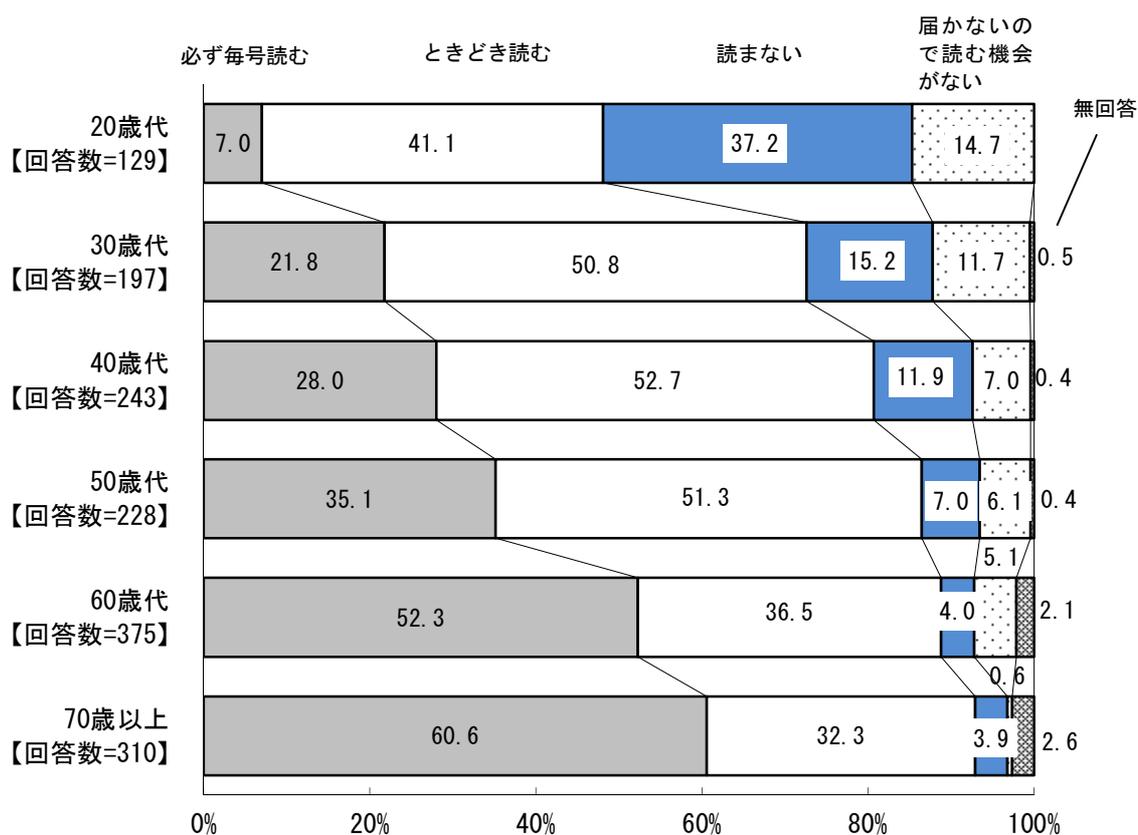


「東大阪市政だより」の閲読状況をたずねた。「ときどき読む」が42.7%と最も高く、次いで「必ず毎号読む」が39.3%、「読まない」が10.1%と続いている。

“読む”(「必ず毎号読む」(39.3%) + 「ときどき読む」(42.7%))は、82.0%で8割強となっている。

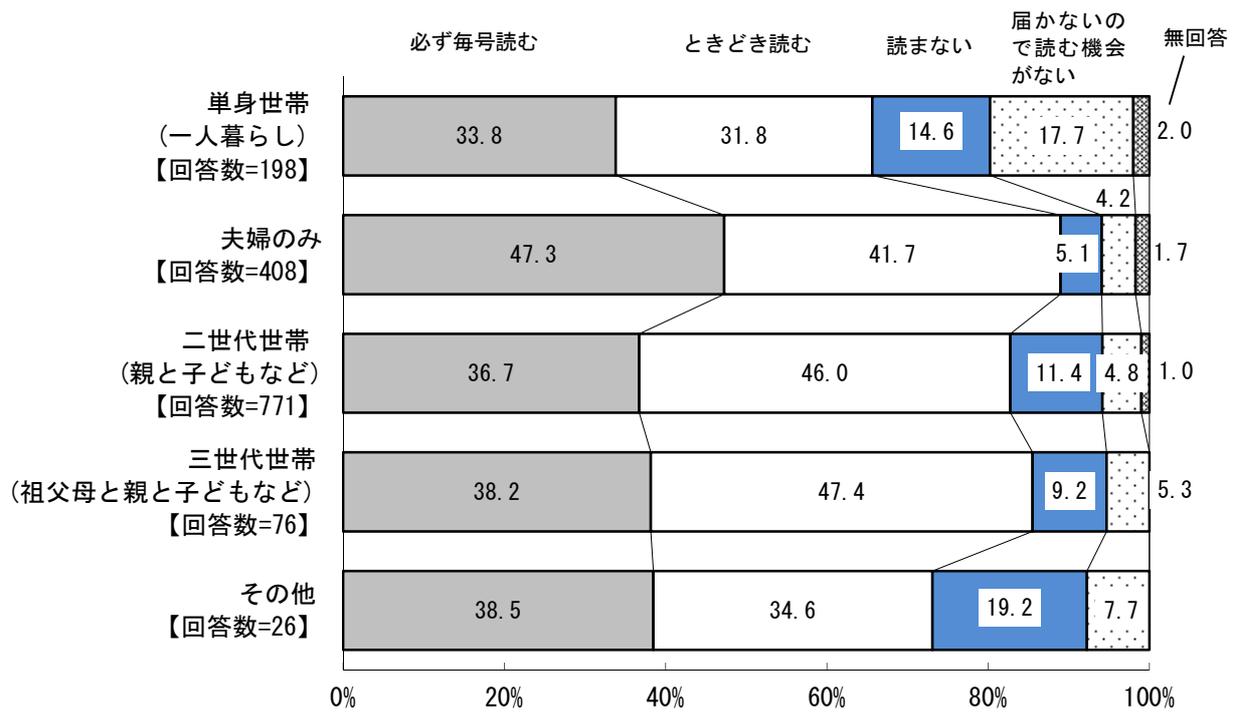
平成23年度調査の“読む”(「必ず毎号読む」(39.1%) + 「ときどき読む」(47.0%))と比較すると、4.1ポイント(86.1-82.0)減少している。(図2-4)

図 2-5 年代別 「東大阪市政だより」の閲読状況



年代別にみると、“読む”（「必ず毎号読む」＋「ときどき読む」）は年代が上がるにつれ高くなり、なかでも『70歳以上』が9割強となっている。一方、『20歳代』では「読まない」が37.2%と他の年代に比べ最も高くなっている。（図 2-5）

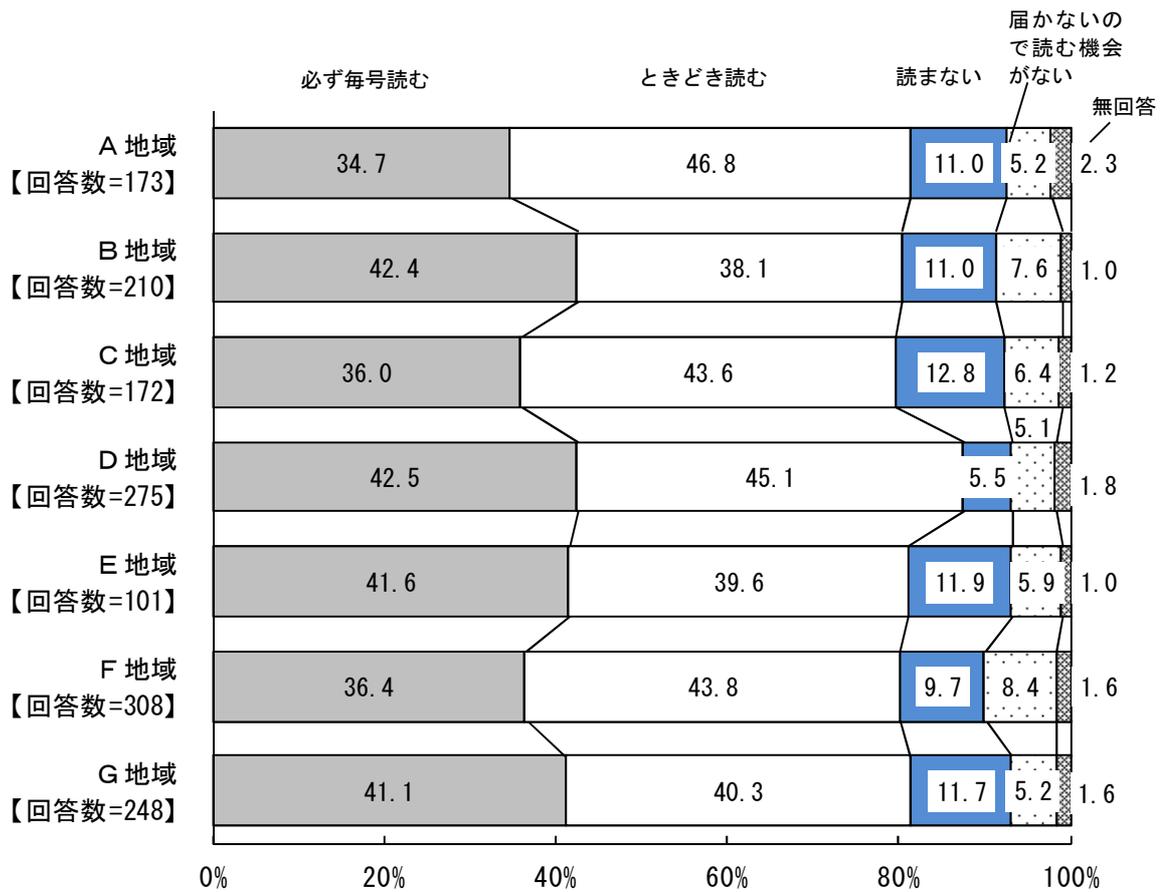
図 2-6 家族構成別 「東大阪市政だより」の閲読状況



家族構成別にみると、『夫婦のみ』で「必ず毎号読む」が47.3%で5割弱と最も高く、他の3割台より約10ポイント程度差が出ている。

また、『単身世帯（一人暮らし）』で“読まない”（「読まない」（14.6%）＋「届かないので読む機会がない」（17.7%））は32.3%と最も高くなっている。（図2-6）

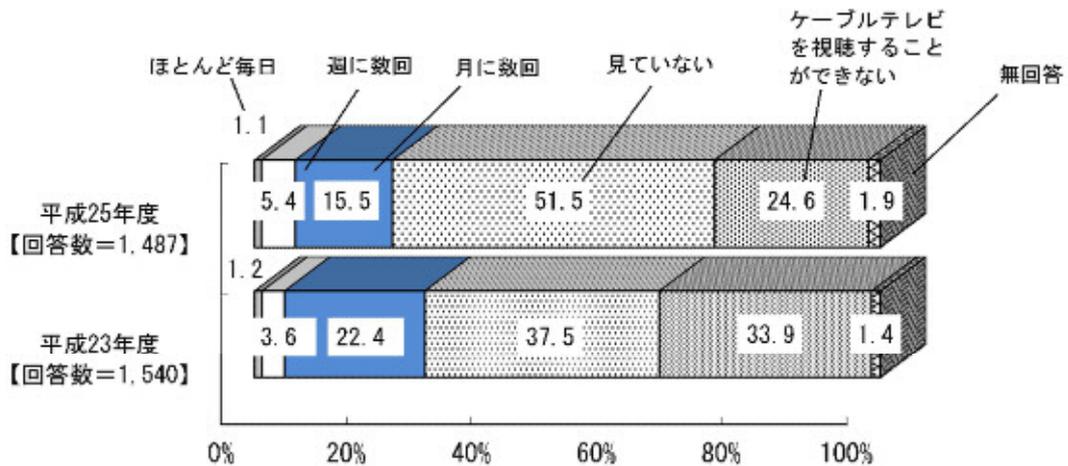
図 2-7 地域別 「東大阪市政だより」の閲読状況



地域別にみると、『B地域』『D地域』『E地域』『G地域』で「必ず毎号読む」が4割強となっており、他の地域では3割半となっている。一方、『C地域』では「読まない」が12.8%とやや高くなっている。(図 2-7)

問 14. 市では、J：COM東大阪(ケーブルテレビ)のコミュニティチャンネル(11チャンネル)で、広報番組「虹色ねっとわーく」を放送しています。あなたは、「虹色ねっとわーく」をどの程度ご覧になっていますか？
(〇は1つだけ)

図 2-8 広報番組「虹色ねっとわーく」の視聴状況

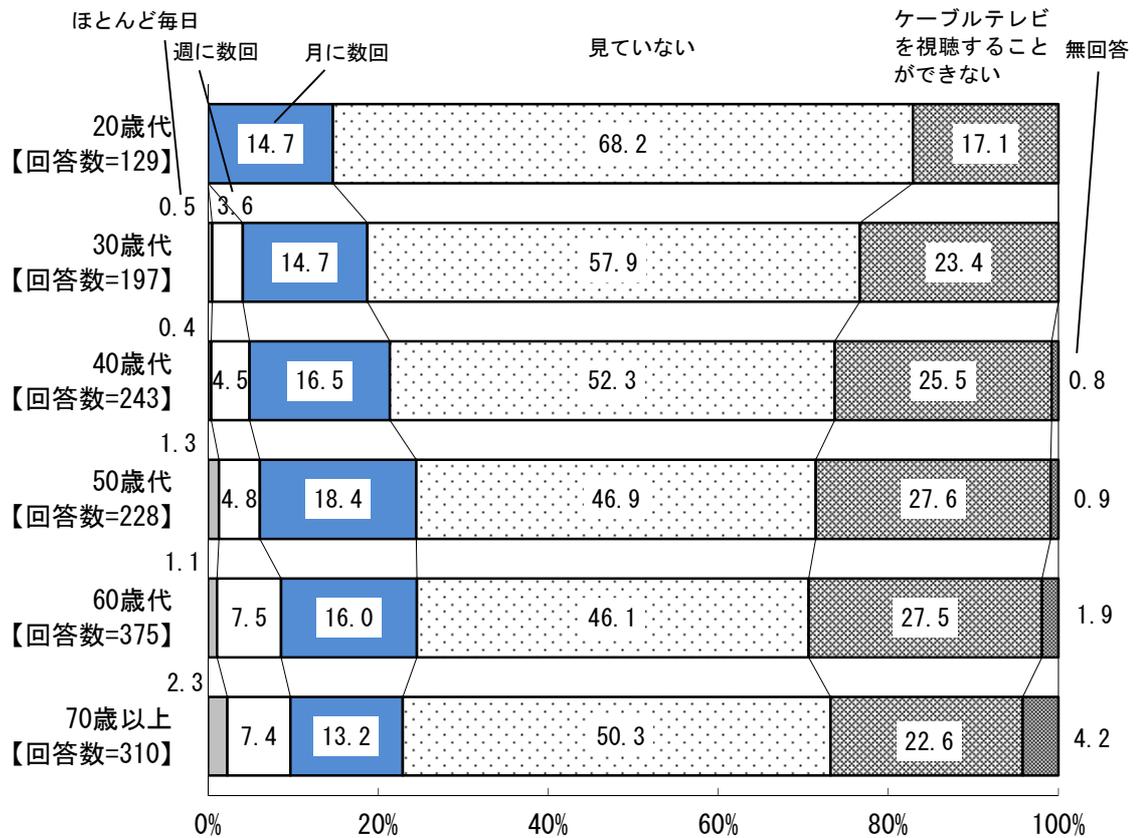


広報番組「虹色ねっとわーく」の視聴状況をたずねた。「見ていない」が51.5%と最も高く、次いで「ケーブルテレビを視聴することができない」が24.6%、「月に数回」が15.5%と続いており、「ほとんど毎日」は1.1%にとどまっている。

また、“見る”（「ほとんど毎日」(1.1%) + 「週に数回」(5.4%) + 「月に数回」(15.5%))は21.7%で2割強となっている。

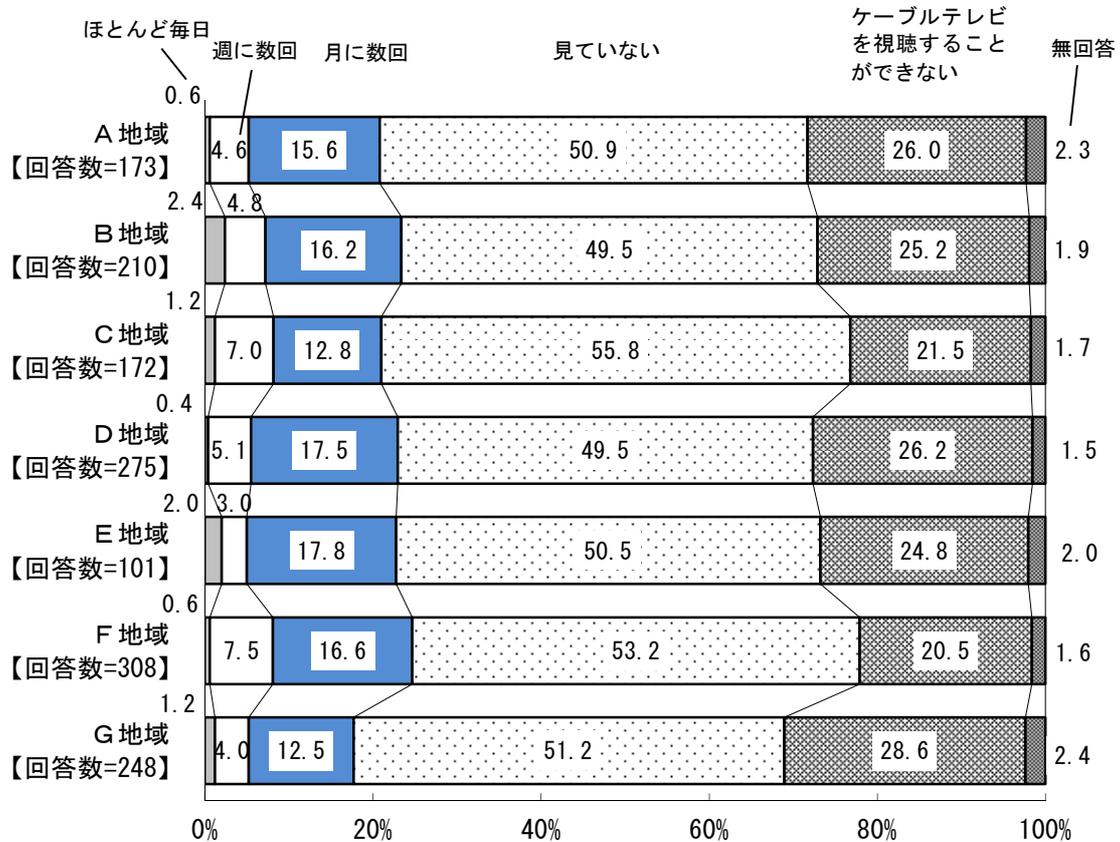
平成23年度調査と比較すると、「見ていない」が14.0ポイント増加している。(図2-8)

図 2-9 年代別 広報番組「虹色ねっとわーく」の視聴状況



年代別にみると、『60歳代』で“見る”（「ほとんど毎日」（1.1%）＋「週に数回」（7.5%）＋「月に数回」（16.0%））が24.6%と最も高く、次いで『50歳代』で24.5%、『40歳代』で21.4%と続いている。一方、『20歳代』では「見ていない」が68.2%と最も高くなっている。（図2-9）

図 2-10 地域別 広報番組「虹色ねっとわーく」の視聴状況

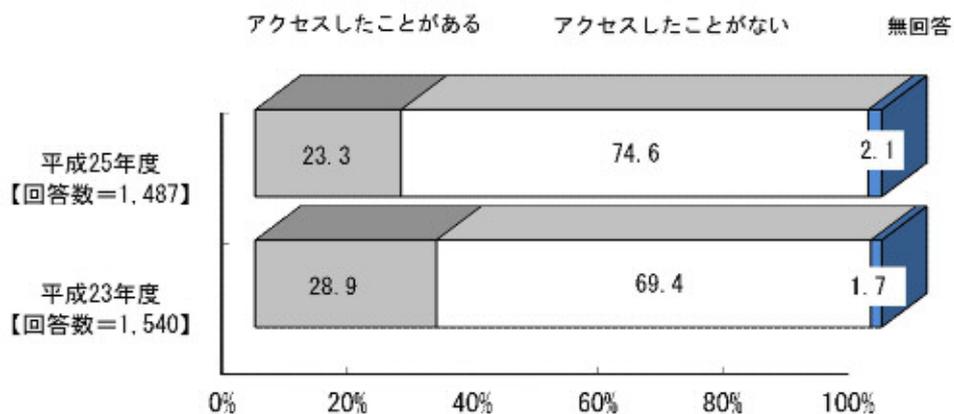


地域別にみると、『F地域』で“見る”（「ほとんど毎日」(0.6%) + 「週に数回」(7.5%) + 「月に数回」(16.6%)) が 24.7%と最も高く、次いで『B地域』で 23.4%、『D地域』で 23.0%と続いている。

一方、『G地域』では「ケーブルテレビを視聴することができない」が 28.6%と他の地域と比べて最も高くなっている。(図 2-10)

問 15. あなたは、東大阪市のウェブサイト(ホームページ)にアクセスしたことがありますか？(○は1つだけ)

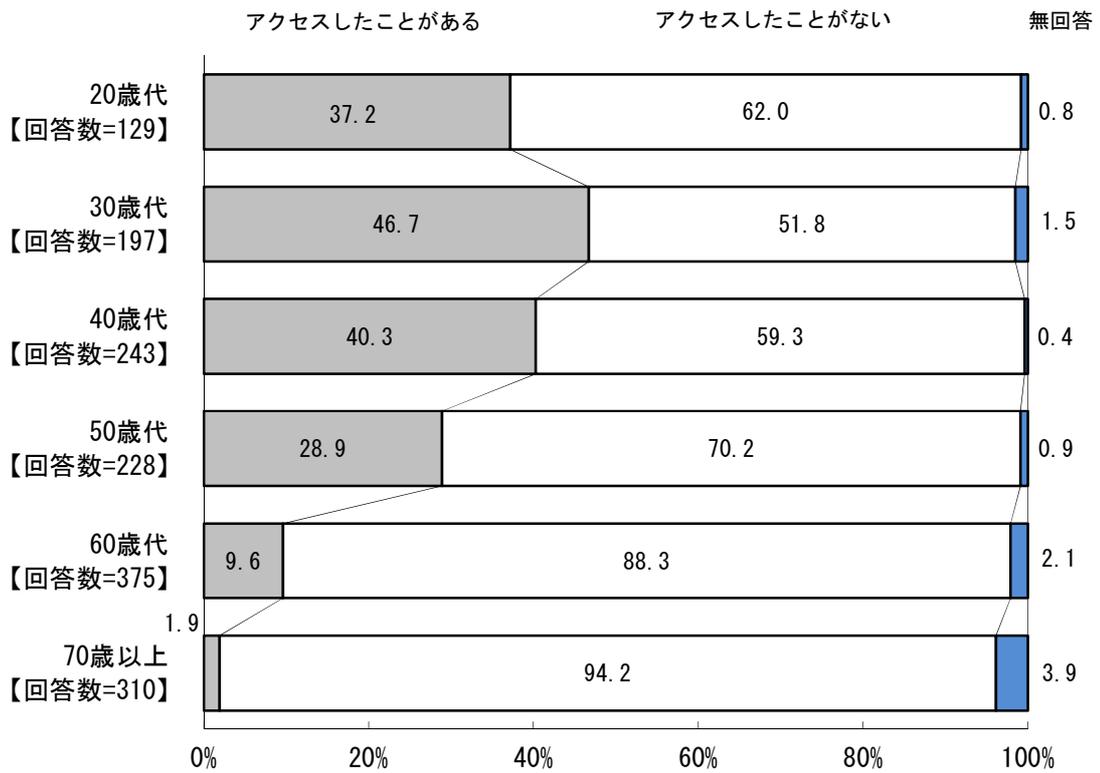
図 2-11 市ウェブサイトへのアクセス有無



市ウェブサイトへのアクセス有無をたずねた。「アクセスしたことがある」が23.3%、「アクセスしたことがない」が74.6%となっており、後者は前者の約3.2倍となっている。

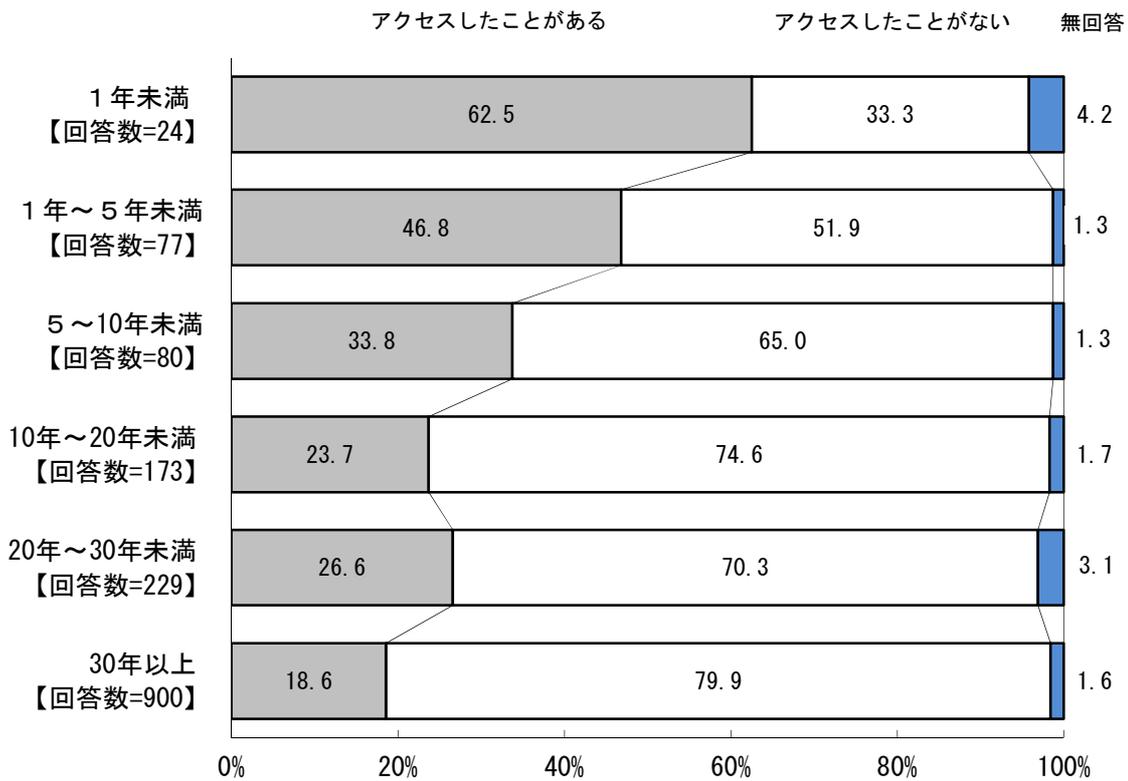
平成23年度調査と比較すると、「アクセスしたことがある」が5.6ポイント減少している。(図2-11)

図 2-12 年代別 市ウェブサイトへのアクセス有無



年代別にみると、『30歳代』で「アクセスしたことがある」が46.7%と最も高く、次いで『40歳代』で40.3%、『20歳代』で37.2%と続いている。一方、『70歳以上』では、「アクセスしたことがない」が94.2%と最も高くなっている。(図 2-12)

図 2-13 居住年数別 市ウェブサイトへのアクセス有無

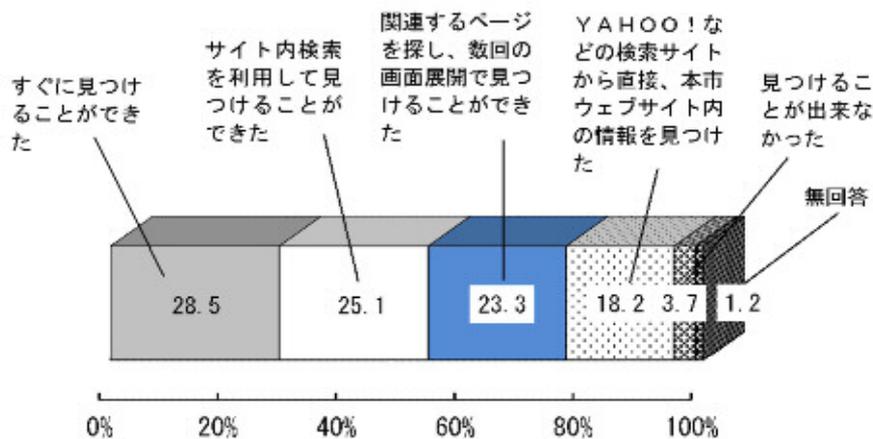


居住年数別にみると、『1年未満』で「アクセスしたことがある」が62.5%と最も高くなっており、『20年～30年未満』を除き、居住年数が長くなるにつれ、その割合が低くなる傾向にある。(図 2-13)

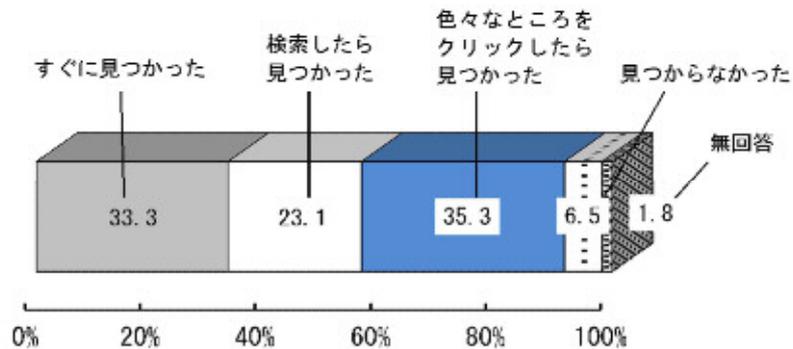
問 15 で「1. アクセスしたことがある」を選んだ方におたずねします。

問 15-1. 本市ウェブサイトのアクセスにより、欲しい情報は見つかりましたか？
(○は1つだけ)

図 2-14 市ウェブサイトでの情報の見つけやすさ



【平成 25 年度調査 回答数=347】

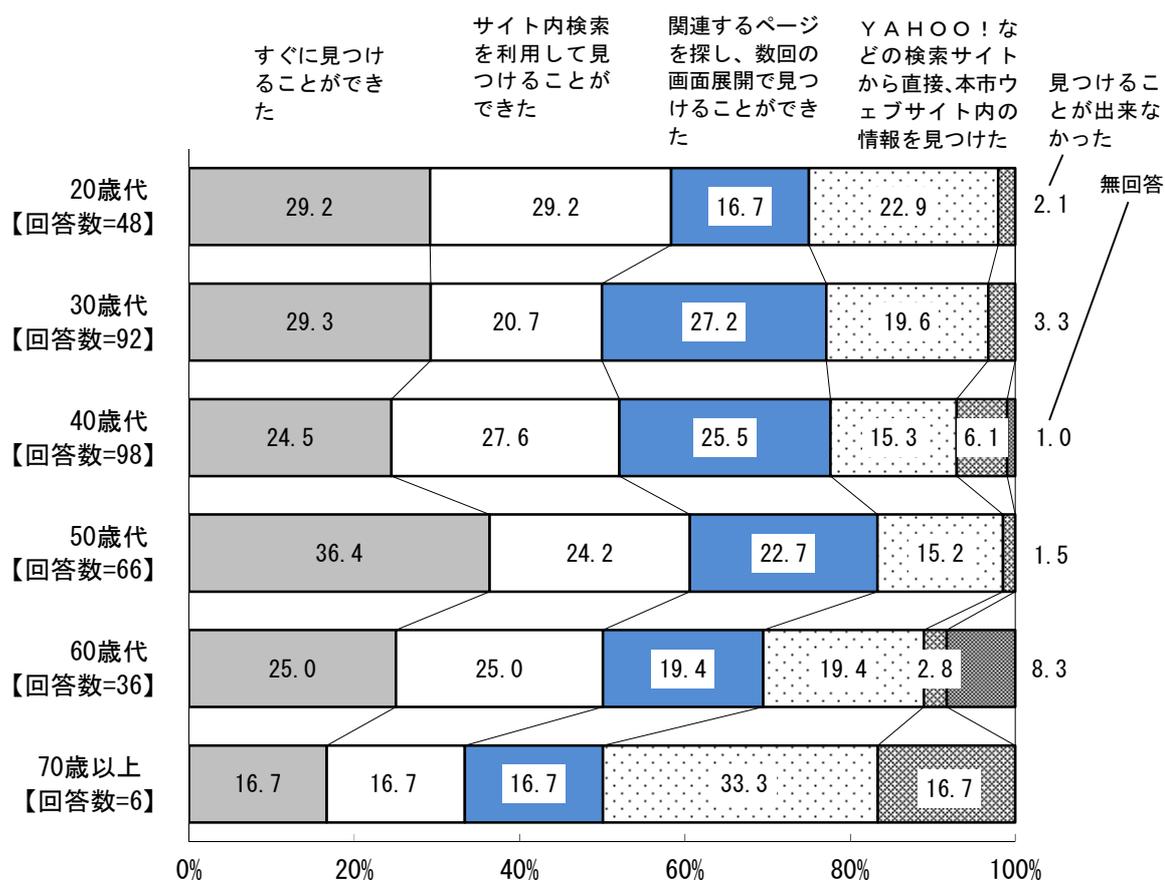


【平成 23 年度調査 回答数=445】

市ウェブサイトでの情報の見つけやすさをたずねた。「すぐに見つけることができた」が 28.5%と最も高く、次いで「サイト内検索を利用して見つけることができた」が 25.1%、「関連するページを探し、数回の画面展開で見つけることができた」が 23.3%と続いている。

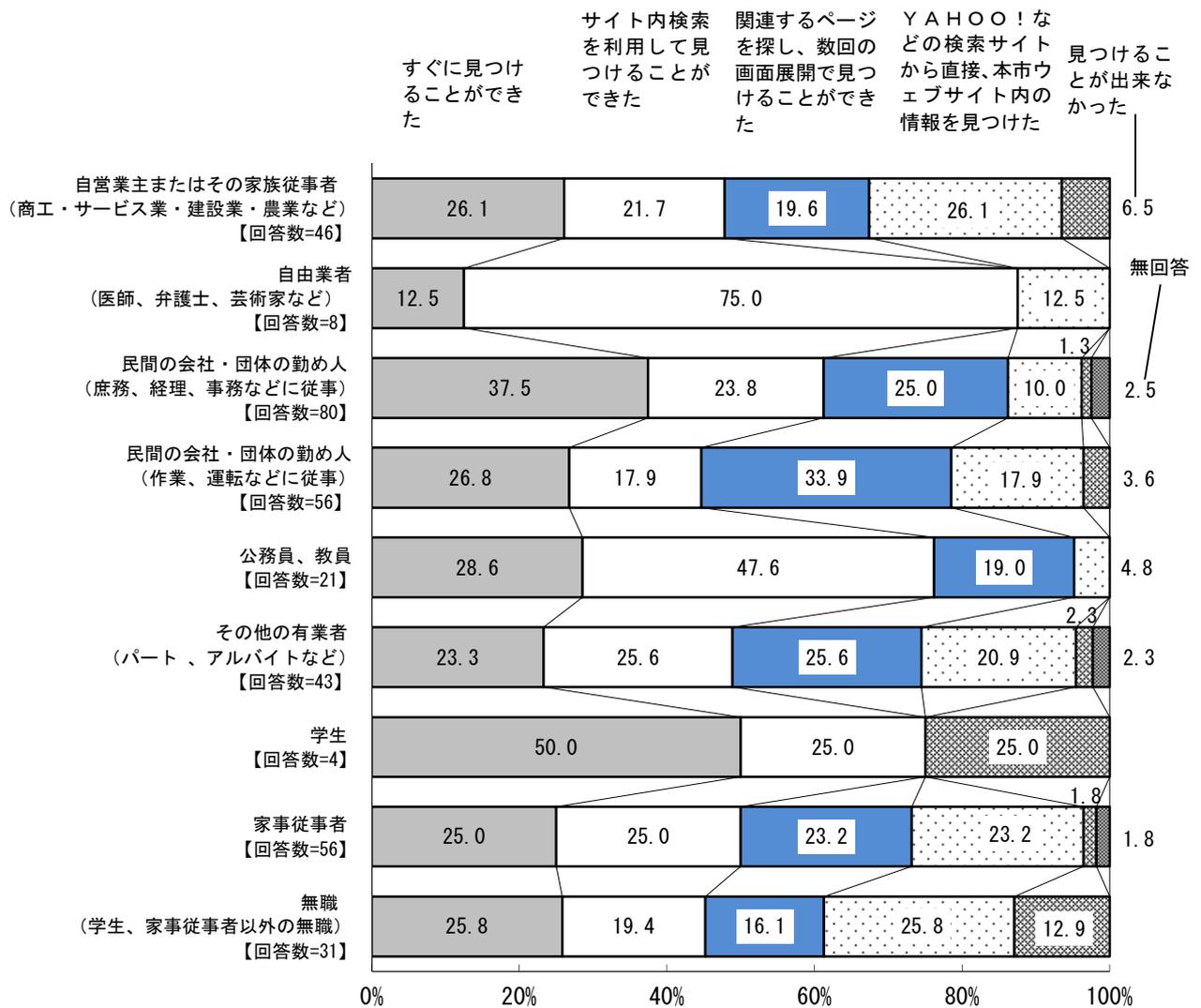
項目がいくつか異なるものも含まれているが、平成 23 年度調査と比較すると、「すぐに見つけることができた」が、4.8 ポイント減少している。(図 2-14)

図 2-15 年代別 市ウェブサイトでの情報の見つけやすさ



年代別にみると、『50歳代』で「すぐに見つけることができた」が36.4%と最も高く、次いで『30歳代』で29.3%、『20歳代』で29.2%と続いている。一方、『70歳以上』では「見つけることが出来なかった」が16.7%と、他の年代に比べ最も高くなっている。(図 2-15)

図 2-16 職業別 市ウェブサイトでの情報の見つけやすさ

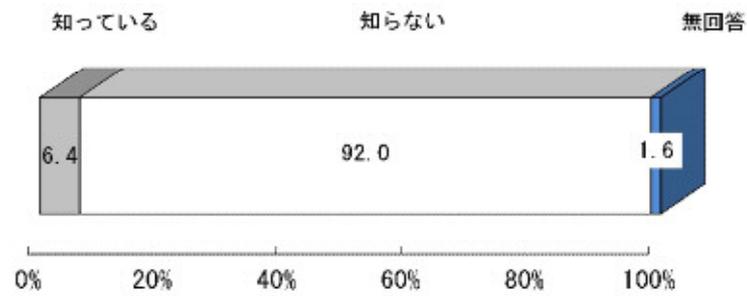


職業別にみると、『学生』で「すぐに見つけることができた」が50.0%と、他の職業に比べ最も高くなっている。

同様に、『自由業者（医師、弁護士、芸術家など）』で「サイト内検索を利用して見つけることができた」が75.0%、『民間の会社・団体の勤め人（作業、運転などに従事）』で「関連するページを探し、数回の画面展開で見つけることができた」が33.9%と、それぞれ他の職業に比べ最も高くなっている。（図 2-16）

問 16. あなたは、「東大阪市公式F a c e b o o k」を開設したことをご存じですか？
(〇は1つだけ)

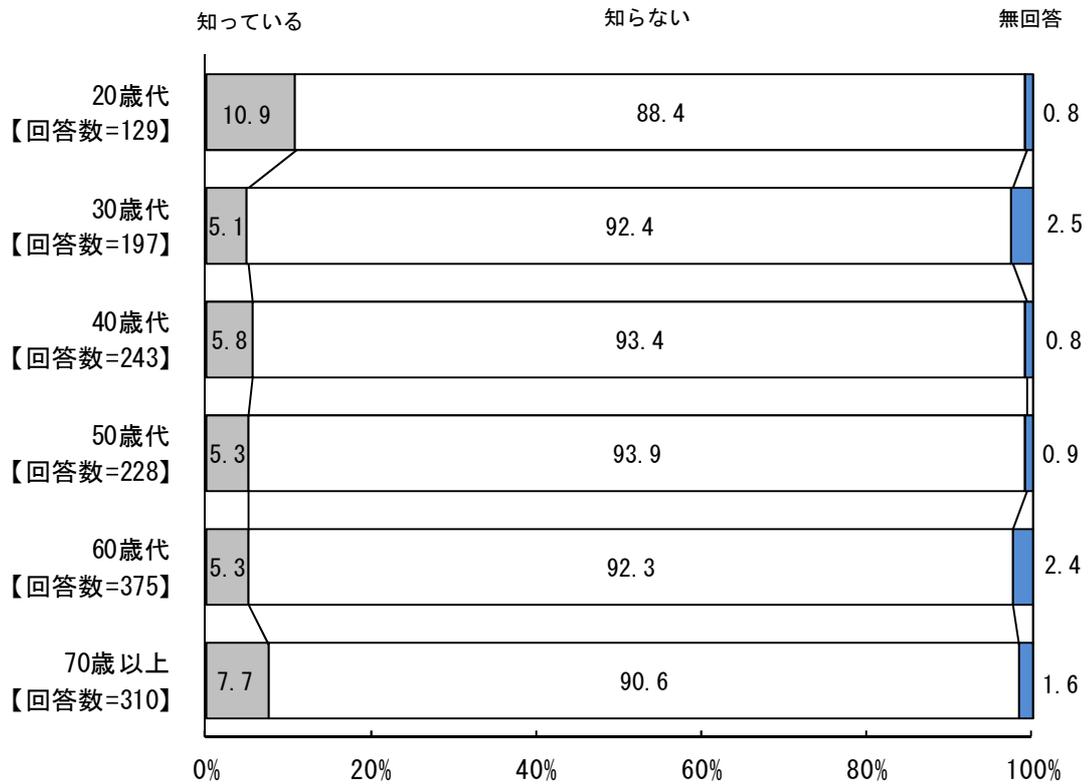
図 2-17 「東大阪市公式F a c e b o o k」開設の認知度



【回答数=1,487】

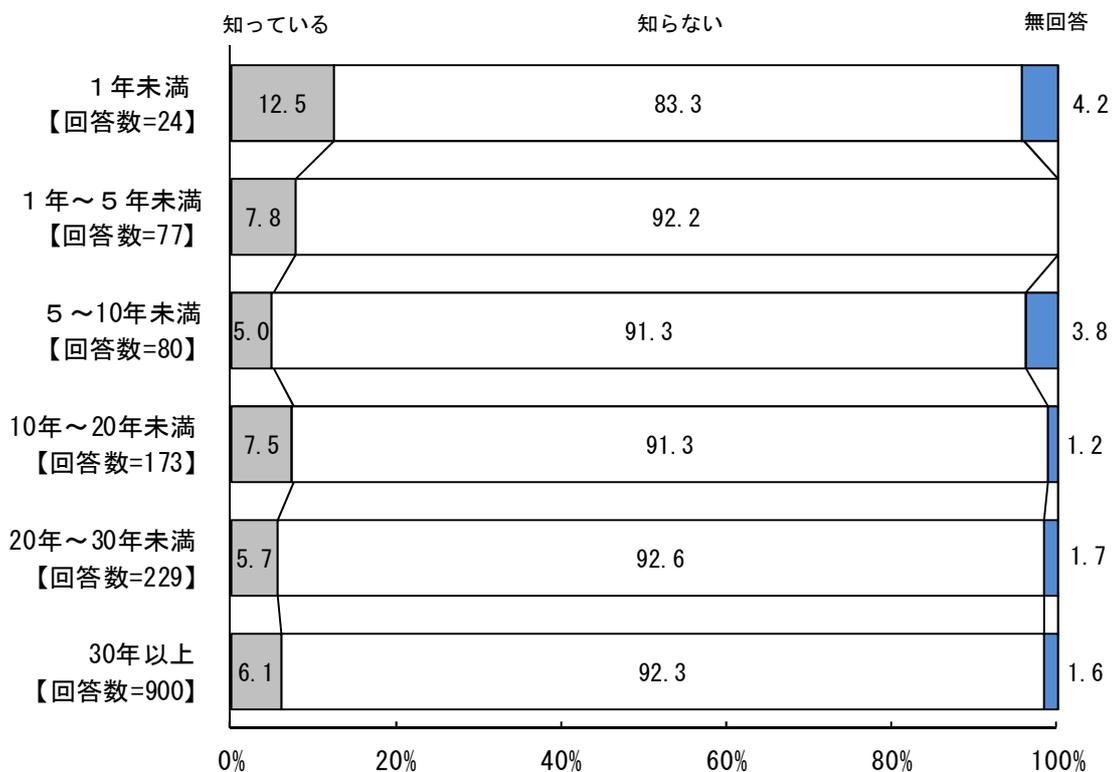
「東大阪市公式F a c e b o o k」開設の認知をたずねた。「知っている」が6.4%、「知らない」が92.0%で圧倒的に「知らない」が高くなっている。(図 2-17)

図 2-18 年代別 「東大阪市公式 Facebook」 開設の認知度



年代別にみると、『20歳代』で「知っている」が10.9%と最も高くなっており、次いで『70歳以上』で7.7%、『40歳代』で5.8%と続いている。一方、『30歳代』以上の年代では「知らない」が90%を超えている。(図 2-18)

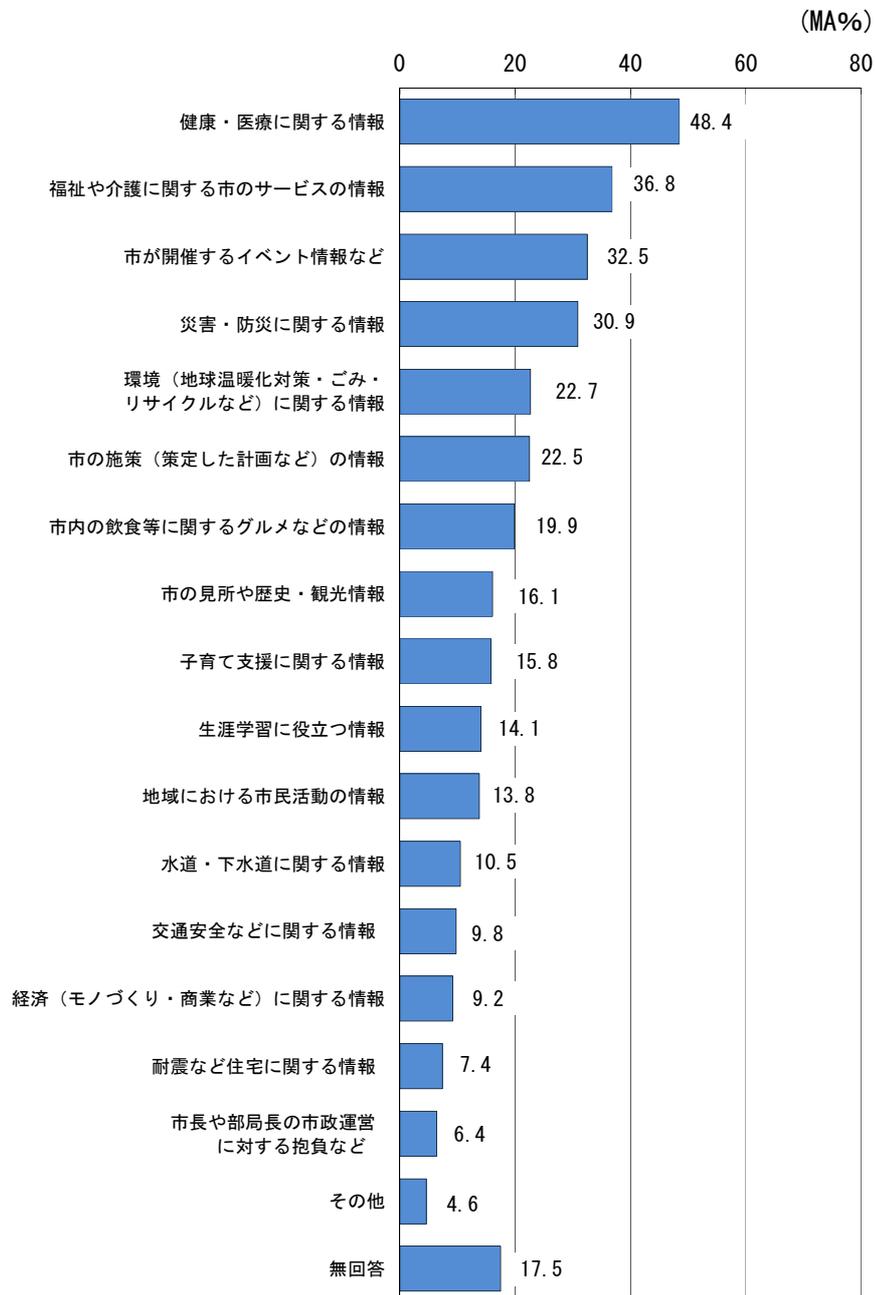
図 2-19 居住年数別 「東大阪市公式 Facebook」開設の認知度



居住年数別にみると、『1年未満』で「知っている」が12.5%と最も高くなっている一方、他の居住年数では「知らない」が90%を超えている。(図 2-19)

問 17. 今後、このF a c e b o o kを一層充実させるため、どのような情報提供を期待されますか？（〇はいくつでも）

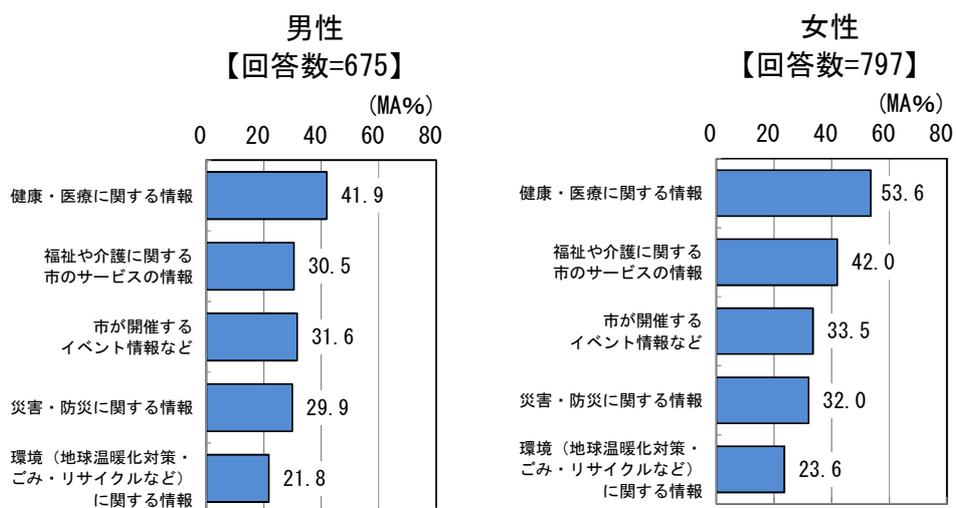
図 2-20 「東大阪市公式F a c e b o o k」に期待する情報（複数回答）



【回答数=1,487】

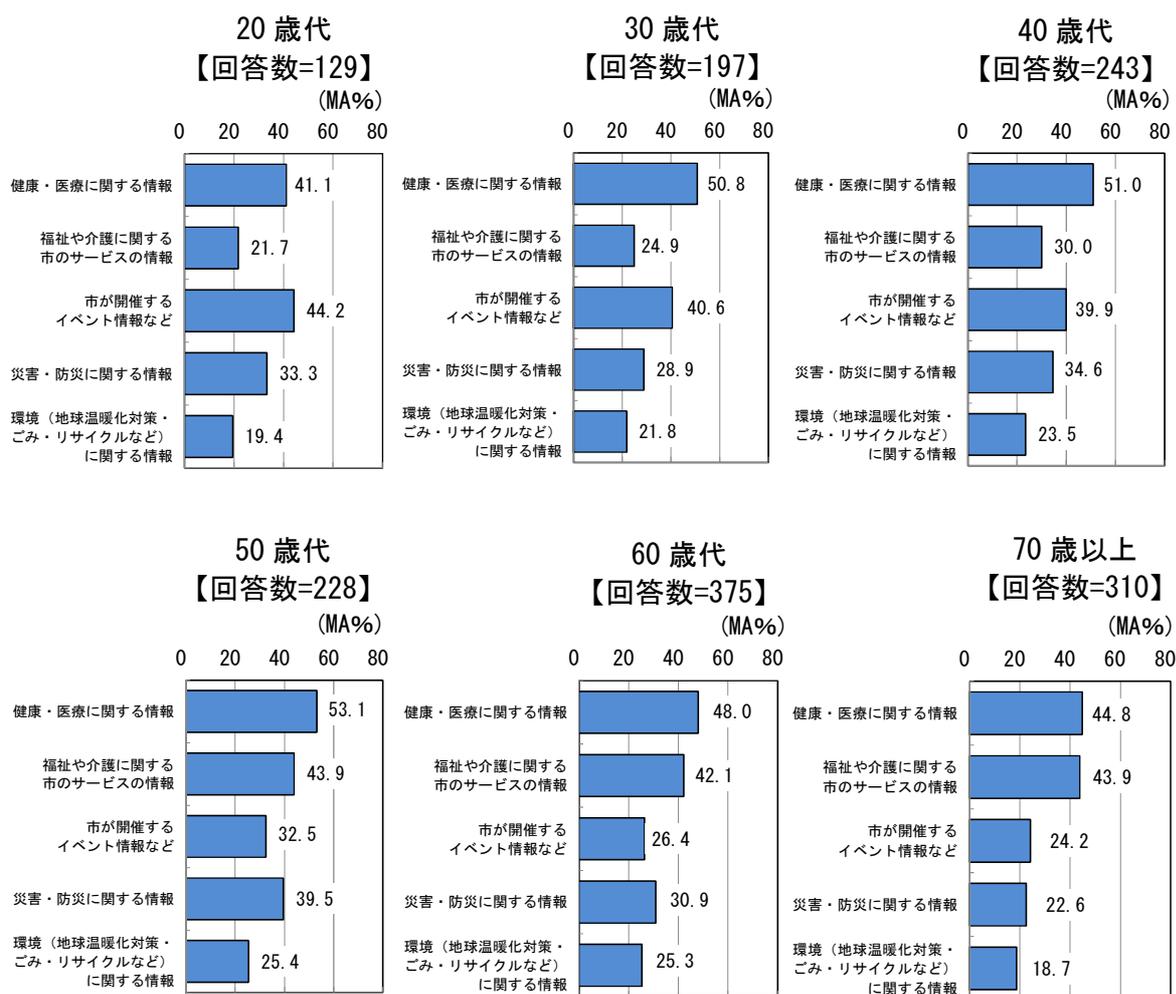
「東大阪市公式F a c e b o o k」に期待する情報をたずねた。「健康・医療に関する情報」が48.4%と最も高く、以下「福祉や介護に関する市のサービスの情報」(36.8%)、「市が開催するイベント情報など」(32.5%)、「災害・防災に関する情報」(30.9%)などの順となっている。(図 2-20)

図 2-21 性別 「東大阪市公式 Facebook」に期待する情報【上位5項目】(複数回答)



性別に上位5項目をみると、『女性』は「健康・医療に関する情報」が53.6%と『男性』に比べ11.7ポイント上回っている。また、『男性』では、「市が開催するイベント情報など」が31.6%と2位となっている。(図 2-21)

図 2-22 年代別 「東大阪市公式 Facebook」に期待する情報【上位5項目】（複数回答）



年代別に上位5項目をみると、『20 歳代』で「市が開催するイベント情報など」が44.2%で1位となっている。また、『30 歳代』『40 歳代』では、「市が開催するイベント情報など」がそれぞれ40.6%、39.9%で2位となっている。一方、『50 歳代』『60 歳代』では、「災害・防災に関する情報」がそれぞれ39.5%、30.9%で3位となっている。（図 2-22）